

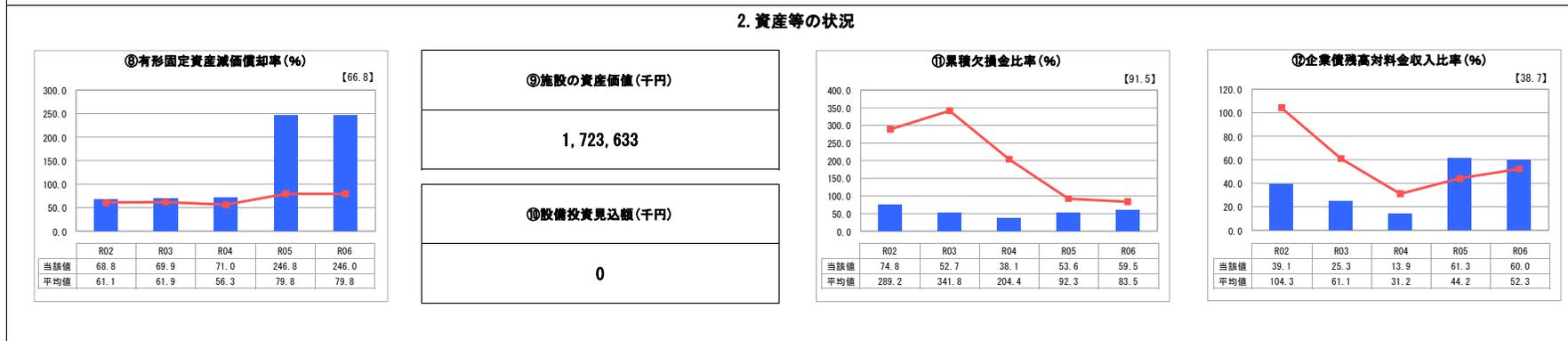
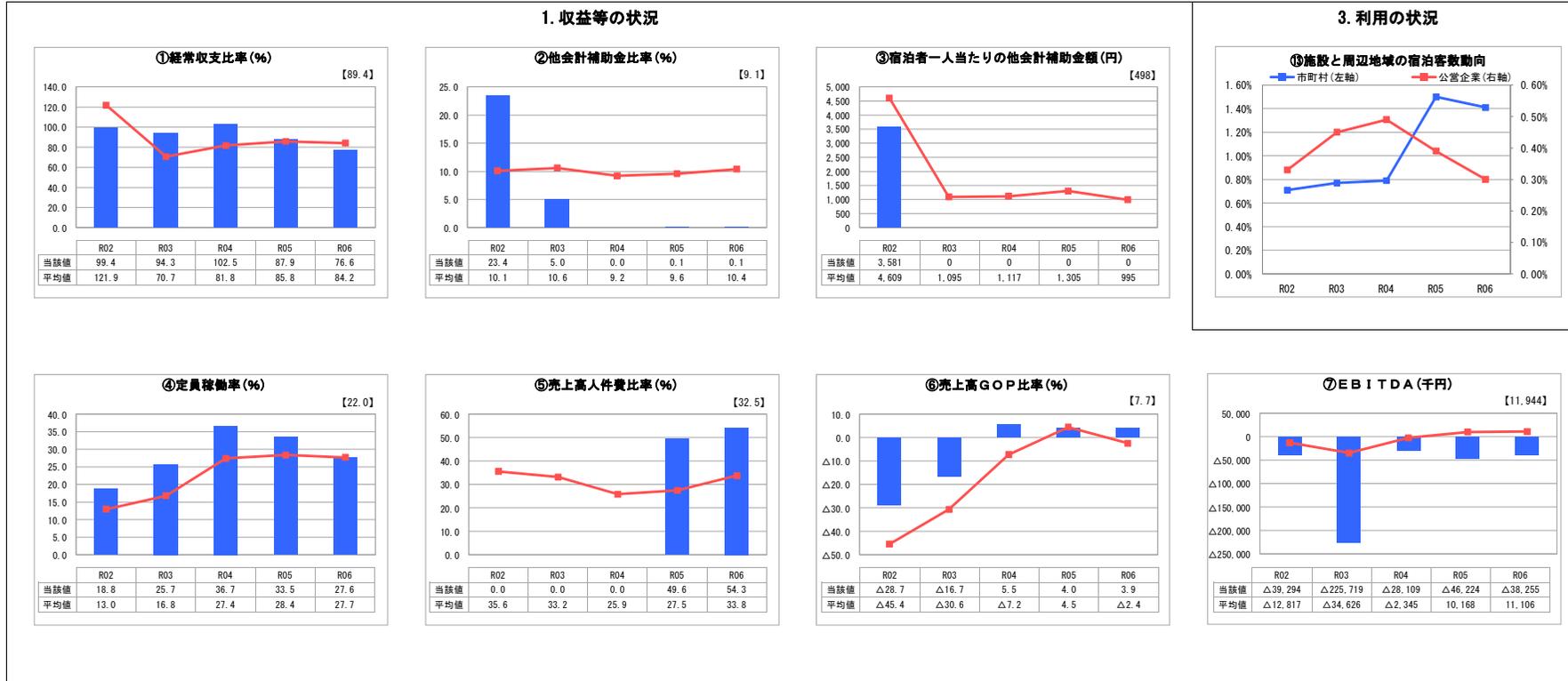
経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県小鹿野町 国民宿舎 両神荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	その他
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
0.0	75.7	4,302	168	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
13,954	無	85.1
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	85.7	有

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
[]	令和6年度全国平均



分析補

1. 収益等の状況について

① 経常収支比率については、令和5年度採択観光庁の高付加価値化事業による本館客室等改修工事に伴い、令和6年9月末まで本館客室棟の全面休館、正面玄関、フロント、売店、ロビー改修時には一時全面休館としたため、全体的に売上げが減少している。② 他会計補助金比率、③ 宿泊者一人当たりの他会計補助金については、上記改修工事に伴う観光庁補助金により一時的に補助金額が増加している。⑤ 売上高人件費比率については、工事に伴う休館により宿泊客が減少したため上昇している。⑥ 売上高GOP比率については、工事に伴う宿泊客の減少、経費の高騰により利益が減少している。⑦ EBITDAについては、前年度に引き続き工事のための休館等により収益が減少したため数値が上昇のみである。ただし工事完了後の稼働により収益率が上がり前年度より数値が回復している。

2. 資産等の状況について

⑧ 有形固定資産減価償却率については、前年度からの改修工事に伴い数値が前年同様上昇している。⑪ 累積欠損金比率は、改修工事に伴う休館等により赤字となっている。工事が完了し年間通して通常営業が可能となる令和7年度は収益が増加する見込みである。⑫ 企業債務高対料金収入比率は、改修工事に伴う起債もあったため前年に引き続き上昇している。

3. 利用の状況について

③ 利用の状況については、前年に引き続き改修工事に伴う稼働できた客室に限りがあるため前年並みの数値となっている。類似施設の数値も下がっていることから令和5、6年度の数値が下がっていると思われる。令和7年度からは、周辺施設を含め本格稼働することから全体的に数値は上昇すると見込まれる。

全体総括

令和5、6年度にかけ、本館客室の全面改修及び、フロント、売店、ロビーの改修工事に伴う休館等の影響により収益が減少したが、改修に伴い、料金及び料金設定の柔軟な対応（繁忙期、閑散期）を実施し、さらに令和7年度から指定管理者による施設運営を開始することにより、経営状態のさらなる改善が見込まれるところである。